

塩竈市津波防災センターがオープンします

塩竈市では、①津波発生時は周辺住民や観光客などの一時避難場所 ②塩竈市営汽船（本土と浦戸諸島 4 島 5 地区を結ぶ離島航路）が欠航となった際に帰島できなくなった住民の一時待機場所 ③通常時は模型や映像、写真パネルを通して塩竈市の被害状況や復興の歩み、防災知識の学習の場としての展示施設 の 3 つの機能を備えた施設「塩竈市津波防災センター」の整備を進めてまいりました。

このたび、展示施設機能の整備が進み、開館の運びとなりましたのでお知らせいたします。

【開館記念式典について】

日時：平成 30 年 7 月 12 日（木）午前 10 時から

場所：塩竈市津波防災センター（塩竈市港町 1 丁目 4 番 1 号 マリンゲート塩釜 東隣）

【一般開放について】

日時：平成 30 年 7 月 12 日（木）午前 11 時から午後 5 時まで

入場：無料

13 日以降の開館時間等は次のとおりです

午前 9 時から午後 5 時まで 毎週月曜日休館（休日の場合は翌平日）

研修室のご利用（有料・1 時間単位） 研修室 1：900 円 研修室 2：880 円 （二部屋つなげて利用可）

【記念講演を開催します】

日時：平成 30 年 7 月 12 日（木）午前 11 時 10 分から 30 分程度

場所：塩竈市津波防災センター研修室

講師：東北大学災害科学国際研究所 佐藤 翔輔 准教授

演題：災害の記憶を継承することの意義

入場：無料（申込み不要 先着順となります）



【報道機関の皆さまへ】

当日の取材は午前 9 時 30 分から 1 階で受付いたします。

【館内イメージ図】

